

会社や職種に関係なく
一人でも誰でも入れる
労働組合
千葉スクラムユニオン



2015年12月10日 第22号

発行：千葉スクラムユニオン
千葉市中央区祐光 2-5-8
ハイツカメリア 202号
TEL/FAX：043-221-2525
E-mail：t-oyana@lapis.plala.or.jp
http://scrunion.web.fc2.com/

■発行責任者：大島甲三 ■編集責任者：平野良成

吉村さんの現職復帰確実

6月30日の千葉地裁での原告全面勝利判決を受けて、千葉中央郵便局はこれを不服として東京高裁に控訴しました。東京高裁では現在和解協議が進められています。

東京高裁の和解協議進展中

★郵政本社が「吉村さんの職場復帰」を認めました。

★「停職2か月」処分を「減給」処分としました。

11月4日に2回目の協議を行い、組合は基本的に了解しました。しかし、会社側が未払金として提示した350万円の金額の根拠を示すことが出来ないことについて、裁判官からも「なぜ根拠を示せないのか」などと質問され、会社側は即答できず、12月22日の和解協議で示すことを確認しました。よって、12月10日の「判決」は延期となりました。また、吉村さんは来年の1月18日から現場復帰することとなりました。

地域ユニオンが共同して、千葉労働局へ申し入れ

11月24日、市原地区労、ユニオン市原、習志野地区労、菜の花ユニオン、千葉スクラムユニオンが共同で千葉労働局へ申し入れしました。千葉労働局は7名が要求項目の回答を行いました。しかし、交渉時間が1時間

と短く、こちらも出された資料を精査できず、焦点を絞り込んだ交渉ができませんでした。



11月23日、第2回千葉スクラムユニオンボウリング大会を開催しました。

22名の参加でした。2ゲームで競い、ユニオン市原の滝谷さんが300点を獲得し優勝しました。

参加団体は、ユニオン市原、N関労、千葉スクラムユニオンなどでした。

終了後、京成新千葉近くの「美味しんぼ」で懇親会を行いました。

第3回目は来年の参議院選挙後と考えています。委員長は、遊びや交流会も必要だが、昨今の働く人たちの厳しい状況をふまえて、労働相談にもっと力を注ごうと指摘しました。

「アベノミクス」のウソが大衆に明らかになるや、夏の参議院選挙を目指し、「新アベノミクス」を打ち出しました。「一億総活躍社会」で、①2020年までに「GDP600兆円」を目指す。②子供の出生率を1.4から1.8に引き上げる。③「介護離職者ゼロ」などです。TPPの大筋合意も「国会決議」無視という態度で、まさに新自由主義の申し子となっています。

戦後、これだけ格差が拡大したことのないほど、6人に1人の割合で子供の貧困化が進んでいます。また、2015年には団塊の世代が75才以上となり、多くの認知症が問題となっています。今の日本は東京オリンピックなどと浮かれている場合ではありません。

マスコミを利用して国民を欺きながら、北朝鮮や中国を仮想敵国として、アメリカの様に産軍複合体による海外への武器輸出や原発売りこみに躍起な安倍首相です。

今後、自衛隊が武器を持って、外国に進出し、互いに殺し殺され、日本人を標的としたテロなど、私たちの平和が脅かされています。

アベ暴走政権のインチキ許すな

交渉後、今回の交渉総括を行い、再度、千葉労働局に要求を提出することになりました。

交渉項目①最低賃金の引き上げについて②千葉県の雇用・失業等の状況について③労働相談、労働委員会の活用状況④千葉県内の労働行政各機関にユニオン労働相談チラシを置けるコーナーを設置してほしい。当局「検討したい」⑤2014年6月20日に成立した「過労死防止対策推進法」に基づき、防止のため4点の対策を作りました。千葉県ではどのように取り組んでいるのか教えてほしい。⑦実態を調べて有効な防止策を研究する⑧過労死防止の大切さを国民に知らせる⑨国や地方自治体に相談窓口を作る⑩防止に取り組んでいる団体に力を貸す⑪ブラック企業対策について⑫2項(⑤⑥)について県内地区労・ユニオン連絡会は、労働組合としても取り組まなければならない課題と考えています。行政と連携を取りながら、取り組めれば一層効果的と考えるがどうか。